

シラバス 美術科

教科名	第1学年 美術科	担当者	米田 芽生
-----	----------	-----	-------

【学習到達目標】

- ・中学校美術の制作・鑑賞への心構えができる。
- ・中学校の美術の学習について知り、意欲的に取り組む心構えを持つ。
- ・小学校では使用しなかったアクリルガッシュに触れ、画材の基礎知識を身につけ、これからの制作に活用できるようにする。
- ・一年を通じ、鉛筆、色、レタリング、デザイン、透視図法など様々な分野や素材に触れ、理解を深める。

【学習方法やポイント】

- ・座学では、資料集（又は教科書）の学習したページ、特にその中でもラインの引いてあるページを何度も見ておこう。また、プリントにもラインを引き、赤字にした箇所を再度確認し、要点を押さえておこう。
- ・実技で分からないことがあれば授業中にその場で質問するようにしよう。
- ・実技は時間の制約がある中で進めていくので、授業中は集中して進めていくことが出来るよう努力しよう。上手い下手よりも、まずは努力しているかどうかを最も大切なことです。後で“やりきった”と思えるような作品作りを目指そう。

【年間学習計画表】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学期	★デッサン 「鉛筆でかいてみよう」	★身近な画材である鉛筆を使ってデッサンの基礎を学ぶ。	★プリント、資料集を見て、画材の違いや使い方によってさまざまな表現が出来るということを知る。 ★基礎的能力を身につけ、創造活動に取り組む。
	★「色の整理」	★色が生活の中でどのように活かされているかを知る。 (資料集P3~6)	★生活の中で効果的に色が使われていることに気づく。 ★色彩の基礎知識や混色を理解し、色の分類・性質を理解する。
	★「テーマに沿った色の構成」	★デザイン用の絵の具（アクリルガッシュ）の使い方を習得する。 ・「気持ち」をもとにテーマを各自で決め、気持ちを4色で表し、マスに着色していく。	★デザインセットの基礎知識の習得、デザインセットをこれからの制作に使用出来るように、使いこなせるようにする。 ・筆の使い方、使い分けを理解する。 ・色が持つ感情について理解し、テーマに沿って使えるようにする。

2 学 期	<p>★「クロッキー」</p> <p>★「レタリング」 (文字のデザインの基礎知識)</p>	<p>★物の形を捉える力を身につける。</p> <p>★明朝体、ゴシック体、ローマン体、サンセリフ体を知り、基本的な書体を書けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 習得したレタリングの基礎知識を生かし、漢字からイメージを広げ、絵と文字を組み合わせた絵文字を制作する。 	<p>★時間をかけるデッサンとはまた違い短時間での確に物の形を捉える力を養う。</p> <p>★生活の中で使われている様々なレタリングを見つけ、その効果を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各書体の特徴を理解し、レタリングの機能を生かすために、基本的な書体を丁寧に書く力を身につける。 習得した知識を活かし表現方法を創造出来る力を身につける。
3 学 期	<p>★「一点透視図法」</p>	<p>★構成力を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 奥行きや遠近感覚を理解し、作品を制作する。 	<p>★画面構成及び、空間表現に伴う効果的な色彩表現を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感性や想像力を働かせて、材料を活かした独創的な構想を練ることを目指す。 手順を理解し、目標を持ち、主体的に創造活動に取り組む姿勢を身に付ける。

【評価について】

美術科では、以下の3つの観点に基づき、生徒の皆さんの学習の様子を総合的に評価します。

○知識・技能

作品作りにおいて習得した知識を活かし、その能力を作品に反映することが出来ているかどうか。
また、作品制作において丁寧な作業ができているか。
(主に、提出課題を見て、授業中の指示を守って技能的に高めることが出来ているか。定期テストも含む。)

○思考・判断・表現

作品作りにおいて、独自性や感性を大切にし、オリジナリティ溢れるものになっているか。
(主に、提出課題や課題プリントを見て、見本例や周りの生徒達の考えに左右されることなく、自身の感性を活かし、作品に反映させているかどうか。)
作品を鑑賞し、作品についての知識理解に加え作品の奥深さを感じ、自分なりの感性・考えが育っているかどうか。他の生徒の作品を鑑賞し、その良さを感じる事が出来ているか。
(主に、課題プリントを見て、自分の意見を具体的にまとめることが出来ているか。定期テストも含む。)

○主体的に学習に取り組む態度

美術の知識を進んで吸収し、取り入れようとする。作品についての考えを深め、より良いもの出来るよう努める。
(主に日ごろの授業への取り組み、提出物の状況、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価項目。)